

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 38
ID 102008

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターてづくな								
指定管理者名	特定非営利活動法人共同作業所てづくな					法人番号	2100005007755		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	5169	地域活動支援センターてづくな							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業所兼事務所、休憩室（ワンフロアを仕切って利用：男女別）、トイレ、台所								
施設設置目的	障害者に対し、通所の方法により創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供するもの等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業訓練、生活訓練、社会体験訓練、相談 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・ 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協定、計画が全て実施されない ・ 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・ 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人共同作業所てづくな			指定回数	2 回	
指定期間	平成27年4月1日	～	平成32年3月31日	5年	管理運営開始日	平成22年10月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		作業指導及び訓練	人/年	2,769	2,331	1,707	1,739	102%	3
		生活指導	人/年	2,769	2,331	1,707	1,739	102%	
		相談事業	人/年	38	33	30	30	100%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 新たな定期利用者が1名増となっているが、利用者の個人都合（通院等の増）により大幅な増加は無い。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対する通所の登録に関する業務 利用者の創作的活動又は生産活動の機会の提供 利用者に対する社会との交流促進等の便宜供与に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル製品の製作及び開発と販売。 木工製品の製作及び開発と販売。 縫製品や編物製品の開発と販売。 農業製品の開発と販売。 農林産物直売所「ちよっくら」での販売。 							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		地域内の有線放送の利用。ホームページへ活動内容の紹介。 共同作業所てつくな設立20周年記念式典及び祝賀会を実施し、広く内外に障害者事業への理解と支援を呼びかけた。							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	毎日、夕方にミーティングを実施している。また、定期的に生活相談や健康相談を開き、利用者の要望や困っていることなど把握に努めているとともに利用者の保護者からも相談会をもち、あらゆる角度からの意見を聞く機会を設けている。	
		(3) 調査、会議等の結果	個々における生活相談や健康相談は受けており、その都度対応している。また、作業所における施設や事業に対しての要望については特になし。	
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	日中の活動する場所・作業所として、利用者が無理なく安心・安定し充実した日々を過ごしている。また、家族的な雰囲気が保てる作業所であり、楽しい企画や相談日等を設け、心身の健康管理にも配慮いただいている。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	特になし	
		<<対応措置>>		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	7,500,000	指定管理料	7,500,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等	1,891,710	販売収入等	2,189,070		その他		その他	
	その他収入	201,000	その他収入	382,420					
	計	9,592,710	計	10,071,490		計	0	計	0
収入	人件費	6,171,800	人件費	6,158,611	歳入	指定管理料	7,500,000	指定管理料	7,428,000
	設備管理費	562,000	設備管理費	825,577		委託料		委託料	
支出	備品購入費	0	備品購入費		歳出	需用費		需用費	
	修繕費	50,000	修繕費	1,884		役務費		役務費	
	光熱水費	367,200	光熱水費	220,241		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	2,135,710	事業費	1,926,604		修繕費		修繕費	
	事務経費	306,000	事務経費	623,995		工事請負費		工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	9,592,710	計	9,756,912		計	7,500,000	計	7,428,000
自主事業	収入	0	収入	0					
	支出	0	支出	0					
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		314,578	差引		-7,500,000		-7,428,000
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									63.1%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 4人(4)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 38

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか				

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元からの積極的な雇用 ・ 地元事業所からの積極的な物品の購入 ・ 地元団体とのイベントの協同開催、地元運動会への参加協力 ・ 地元の農産物直売所「ちよっくら」で生産物当を販売 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由
<p>利用者と家族的な雰囲気施設を運営する姿勢が見て取れ、受諾作業や自主生産品等も様々な工夫のもと、利用者の工賃アップに取り組んでいる姿勢が評価できる。</p> <p>所在地の地理的な問題、交通手段、利用者の高齢化だけでなく地域の過疎・高齢化など様々な要因が大きく利用対象者の減少が見込まれる中、利用率は前年とほぼ同率であり、努力がうかがえる。</p> <p>地域的な問題から大幅な利用率の増加は見込めないと思われるが、障害者の日中の生活の場であり、就労の場であることを第一に考え運営をしている。</p>

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	施設の地域的な課題により、利用率の減少に歯止めがかかっていなく、利用率が大幅に減少している。	今年度の利用率は昨年とほぼ同率で維持しており改善されている。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員や保健師等と連携を取りながら、引き続き、新規利用者の掘り起こしや利用開始に向けた取組みを継続し成果に結び付けてもらいたい。

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 春の社会見学 5/22 戸隠神社参拝と森林植物園・神告げ温泉 秋は一泊で志賀高原の旅 9/17～18
- ・ スポーツ交流会参加 2/17
- ・ NHKの歳末たすけあい募金で配分されたカラオケの器械を使い、時間に余裕があった時は、マイクをもって歌をみんなで歌って楽しむ。普段カラオケボックスに行く機会の少ないみなさんは、明日のエネルギーとなる。
- ・ 堆肥づくりに欠かせない落ち葉を拾い集める。（紅葉後の戸隠でゴルフ場から）
- ・ お茶当番がお茶を注いだら、当番まかせではなく、自分で自分のお茶碗をそれぞれに運ぶ。
- ・ NHKのためしてがってんの番組で、よいことは、すぐ取り入れ体操の時間に活かす。
- ・ 24時間テレビ協賛チャリティー食事会に参加。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 朝のミーティング、午後のミーティングをしっかりと行い、その日の体調をみて、作業の分担を決め、お互いが何の仕事に携わっているかを共有しています。早く作業が終われば、申告して、次の作業にかかり、自主性をもって業務にあたっています。
- ・ 職員のペースで、仕事をしないよう、休憩もとり、無理のないよう配慮しています。朝のラジオ体操は、欠かさず行い、熱中症予防等、健康面では保健センターの指導をいただき、毎月健康チェックを行っています。

③ その他

- ・ 家族会・共同作業所の後援会の皆様からの支援をいただき、紙資源物の回収作業を年4回実施。5/14・10/22・12/17・3/17
- ・ 自主製品を鬼無里の直売所に出品し、直売所の当番も月1～2回担当して、地域のみなさんとも交流をはかる。
- ・ 消防用設備点検（消火器具点検・誘導標識点検）を定期的実施（平成27年6月）
- ・ 避難訓練実施（鬼無里デイサービスセンター・保育園・てづくな）による合同避難訓練 平成27年7月15日

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 地域の高齢化とともに、作業所に通所しておられる皆さんや、その保護者も高齢化しています。住み慣れた地域で暮らすことが本人にとっても家族にとっても一番望ましいことですが、施設入所や、病院から施設にといったケースが多い状況です。鬼無里に障害者のためのグループホームをつくれたら利用者の減少をくい止められる。雇用の確保にもつながる。

(3) 次年度以降の取組み

- ・ 受託作業で収入を増やし、利用者の工賃アップを計り、仕事に対する意欲と喜びを味わえるよう支援する。みなさん大変よく働いています。1日1,000円になれば、意欲もあがる。なんとか働きたい。
- ・ 保健センター・民生委員と連携し、とじこもりで、家にいる若者とつながりをもてる取り組みを企画する。利用者の拡大。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る